

中野区教育委員会会議録 平成26年第30回定例会

○開会日 平成26年10月31日(金)

○場 所 中野区教育委員会室

○開 会 午前 10時00分

○閉 会 午前 10時32分

○出席委員

中野区教育委員会委員長	小 林 福太郎
中野区教育委員会委員	渡 邊 仁
中野区教育委員会委員	高 木 明 郎
中野区教育委員会委員	大 島 やよい
中野区教育委員会教育長	田 辺 裕 子

○出席した関係職員

教育委員会事務局次長	奈 良 浩 二
副参事(子ども教育経営担当)	辻 本 将 紀
副参事(学校再編担当)	石 濱 良 行
副参事(学校教育担当)	伊 東 知 秀
指導室長	川 島 隆 宏
副参事(子ども教育施設担当)	伊 藤 正 秀

○担当書記

子ども教育経営分野	片 岡 和 則
子ども教育経営分野	高 橋 綾 菜

○会議録署名委員

委員長	小 林 福太郎
委 員	渡 邊 仁

○傍聴者数 10人

○議事日程

〔報告事項〕

(1) 委員長、委員、教育長報告事項

- ① 10月17日 北中野中学校訪問
- ② 10月24日 かみさぎ幼稚園訪問
- ③ 10月25日 第52回中野区立小中学校特別支援学級連合運動会
- ④ 10月29日 第58回中野区立小学校連合運動会

(2) 事務局報告事項

- ① 平成27年度中野区立学校の儀式的行事等の日程について（指導室長）
- ② 平成27年度中野区立学校における学校教育の指導日程（指導室長）

中野区 教育委員会
第30回定例会
(平成26年10月31日)

午前10時00分開会

小林委員長

おはようございます。

教育委員会第30回定例会を開会いたします。

本日の委員の出席状況は全員出席です。

本日の会議録署名委員は、渡邊委員にお願いいたします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりです。

それでは日程に入ります。

<報告事項>

<委員長、委員、教育長報告>

小林委員長

まず、委員長、委員、教育長報告です。

私から、10月17日の第28回定例会以降の委員の主な活動について報告いたします。

10月17日金曜日、北中野中学校訪問、全委員が出席いたしました。

10月24日金曜日、かみさぎ幼稚園訪問、全委員が出席いたしました。

10月25日土曜日、第52回中野区立小中学校特別支援学級連合運動会、渡邊委員、高木委員、大島委員、田辺教育長が出席をいたしました。

10月29日水曜日、第58回中野区立小学校連合運動会、高木委員、大島委員が出席をいたしました。

私のほうから、10月17日金曜日と24日金曜日のことについて、ご報告をさせていただきたいと思います。

北中野中学校におきましては大変落ち着いた雰囲気、生徒たちがしっかりと学習していたというのが大変印象的でありました。また、かみさぎ幼稚園では子どもたちが活発に生活していて、その中で先生方が細やかな配慮で、適切な指導をしていたというのは非常に印象的でした。中学校、そして幼稚園と2校訪問させていただきまして、教育委員としても大変参考になる、有意義な訪問であったというふうに感じております。

それでは、私からの一括報告は以上とさせていただきまして、各委員から補足質問等、ご発言がありましたらお願いをしたいと思います。

渡邊委員、お願いします。

渡邊委員

私も、先ほど報告がありましたように、10月17日の北中野中学校訪問と24日のかみさぎ幼稚園訪問、そして25日、中野区立小中学校特別支援学級連合運動会のほうに参加させていただきました。

北中野中学校につきましては、生徒さんたちというよりも学校の雰囲気は非常に落ちついていて、みんなおとなしく、よい生徒と一般的に言われるような感じの印象を受けました。

かみさぎ幼稚園は、一つは建物が随分老朽化しているかなとか、そういうところはやはり感じました。

それと、建物、ハードの面についてはそういったところなのですが、園庭も結構広くて、園の中にぶどう棚ができていたり、実のなる木が多く植えられていて、いろいろなものをもって食べたりとかできるような、そういった食育につながるものを幼稚園のところから学べるような、都内は自然が少ないと言いながら、自然になるべく接することができるような状況でした。今回、ちょうど行ったときにはお米をつくって、そのお米を自分たちでおにぎりにして食べるという、そういった特別な日でした。また園長との懇談をするときには、そこの幼稚園でとれたぶどうをいただきました。本当にそういった取り組みなんかは非常にいいなと感じたところです。

そして、25日の特別支援学級連合運動会なのですが、私は午後からの参加ですが、まず生徒さんの数が随分ふえたな、以前に比べるとかなり大所帯になってきたなという印象は受けました。ただ、彼ら彼女らの能力は非常に高いものがありまして、それでその高い能力をさらに持ち上げてあげられるようないろいろなことがされていました。特に、器械体操とか組体操を見たのですけれども、非常にすばらしいものでした。実際にはみんな能力があるので、そういった持っている能力を最大限に引き出してあげるような教育がこれからもできればいいなというふうに感じました。

長くなりましたが、以上で私のほうの報告を終わらせていただきます。

小林委員長

大島委員。

大島委員

私も北中野中学校を訪問いたしまして、大変いい状況で、落ちついて授業がなされているということを感じました。それから、授業以外の部活動がすごく盛んで、スポーツとか音楽なんかの分野においても、いろいろ大会に出場していい成績をおさめたりということ

で、そういう面でも大変に素晴らしい学校だなと思いました。

かみさぎ幼稚園も、老朽化のこともありますけれども、みんなすごく楽しく元気いっぱい遊んでいて、5歳児ぐらいになりますと、自分のイメージよりもすごくみんなしっかりして、意見もはっきり言ったり、かなり発達していて、幼児なんていうようなイメージで見たら失礼なのだなと思うぐらいな、みんなしっかりした感じのお子さんたちでした。

10月25日の特別支援学級連合運動会に、私は午前中だけでしたけれども、参加させていただきましたけれども、今、渡邊委員のお話にもありましたけれども、みんなとてもしっかりして、きちんと行動できていて、大変に素晴らしいと思いました。開会式の挨拶や司会も、立派にやられていました。

それから、10月29日は区立小学校連合運動会が行われまして、各委員、幾つかの会場を分かれて見に行ったのですけれども、私は白桜小学校の会場に行きました。ここでは、桃園第二小、塔山小、白桜小、谷戸小とこの四つの小学校が集まって、6年生ですけれども集まってリレーですとか80メートル走、それからこの会場では大縄跳びをやりました。4校になったということで、ことしから谷戸小学校も加わったのですけれども、やはりたくさん学校が集まるといいなというのが実感です。去年までは2校だけでやっていたというようなところもあったのですけれども、やはり2校だとすごく寂しい感じなのですね。それに比べて4校でやるとすごく応援なんかも盛り上がりますし、競争というのでしょうか、そういう雰囲気もすごく盛り上がりまして、リレーなんかももう白熱したレースで、応援にも力が入るといようなことで、やはりある程度の数が集まるといいなということを実感いたしました。

私は以上です。

小林委員長

高木委員、お願いします。

高木委員

まず、10月17日の北中野中学校訪問ですが、ほかの委員からも紹介があったように、非常に落ちついた雰囲気です。授業が進められているなと思いました。

あと、若手の先生が、やはり中学校もだんだんふえてきている印象を受けましたので、若手の先生もそつなく授業をこなしていましたけれども、やはり一層の研修が必要なのかなど。あと、北中野中学校は中野中学校に次いで生徒数が多くて、大体1学年150人ベース、3学年とも150人ちょぼちょぼなのですが、1年生だけ特例で5クラス、あと4クラ

スなのですね。そうすると、かなり教室がいっぱい、ちょっと入るのにちゅうちょするぐらいの感じが、中学生は体格も大きくなっていますし、机の規格も大きくなっているので、これはある意味仕方のないことなので、ぜひ国のほうで35人学級の推進をしていただかないと、中野区だけではちょっとどうしようもないところがありますので、校長先生も大分そこは見ていただきたいというのを強調していました。非常にいい学校でございました。

10月24日、かみさぎ幼稚園の訪問です。久しぶりに幼稚園に訪問すると、私も子どもが、下の子ども小6なので、ああちっちゃいなど。こんなに幼稚園生って元気よかったのかなというのを再認識しました。園庭で、本当に自然が多い園庭で、子どもたちが物おじしないのですね。一緒に遊ぼうとか、ちょっと年を考えずに鉄棒をやって足がぶつかったり、うんていにぶら下がっても手が前に出なかったりというので。あと、子どもが、サルビアの花ですか、なめるとおいしいのよと言って持ってきてくれて、ちょっとなめるのは嫌だったのですけれども、我慢してなめて、ちょっと甘かったです。もう一個持ってこようとしたので、そこはもうほかの子の分になるからいいですと言って、ちょっと遠慮したのですが、非常にいい教育をしているなと思いました。

あと、公立園ということで、支援を要するお子さんがやはり多い。それは公立園ということで仕方がないと思うのですが、私の子どもも発達に課題がありまして、私立の幼稚園に入れさせていただいたのですが、ほぼほぼ副担任がつきっきりで、卒園のときに園長先生からは本当に大変でしたとしみじみ言われて、もうその園は足を向けて寝られないのですけれども、なかなか私立の園ですと、そういった補助といいますか、補助金がストレートには来ないので、認定こども園制度ができていく中で制度として整備されてきて、公立園が受け入れること自体が悪いことではないのですが、やはりあまり多いと、バランスの問題もあるので、適切に各園で受け入れられるようなことがいいのかなと思っておりませんが、なかなか制度がついていかないなという実感をしております。

10月25日は、区立小中学校特別支援学級連合運動会で行われました。私は、国際短期大学の学生2人と、ボランティアとしてもちょっと参加させていただいて、その連合運動会は、実は去年、授業の一環で参加する予定だったのが、台風が来てしまって中止になってしまったので、ことし初めてボランティアとしては参加しました。二中の生徒さんと七中の生徒さんが、都合20名ぐらいですか、あと一般のボランティアの方も一緒に裏方の仕事をやったのですが、なかなか中学校の生徒さんはきびきび動いて、上の先生方も、やっ

ぱり生徒さんのほうが指示しやすいので、うちの学生なんかも手持ちぶさたになって、君たちも自主的にやりなさいと言ったのですが、「学長、何をやればいいんですか」みたいな、本当に中学生の成長、特別支援学級の生徒さんもそうなのですけれども、ボランティアの生徒さんの活躍には頭が下がる思いでした。去年まで七中のD組に長男がいましたので、そのときの後輩が立派に組体操をやったり司会をやったりするのを見て、本当に1年間の成長を実感させていただきました。

あと、10月29日の小学校連合運動会でございます。もう58回ということで、本当にあと2年で還暦だなと、感慨深いところがあります。

私は、まず最初、第4会場、平和の森小学校のほうに行きまして、上高田小、新井小、平和の森小、3校のところを前半見させていただきました。平和の森小、児童数が多いのですが、校庭はあまり広くないのですね。魔のカーブがございまして、新井小の校長先生が、新井小は比較的校庭が広うございますので、同じコースをつくって練習させましたというのを、そこまで気合が入っているのかなと。あと、上高田小学校が、何か紫のすてきなTシャツ、勝ちたいときは声を出せと書いてあって、何かラップみたいのがあるのですね。ほかの校長先生が、「あれっ、連合向きにつくったの」なんて聞くと、「いや、何か周年のときにつくったみたいですよ」ということなのですが、ひととき目立っていて、やっぱりちょっと強そうな感じがしました。

あと、ちょっと給食の話になりまして、私の子どもも緑野小にいるので、うちの子どもの給食の表を見たら、きょうはかつカレーでしたよと言ったら、上高田小と平和の森小もやっぱりカツカレーだったそうですね。上高田小と平和の森小はカツカレーで、新井小は、カツカレーは胃にもたれて児童が不利なので串カツにしましたと、そこまでこだわるのかなと、非常に3校で競い合っているいい雰囲気でした。

自転車で移動しまして、今度は、後半が第5会場、江古田小学校のほうに移動しまして、江古田小学校、江原小学校、緑野小学校、3校の連合運動会を見させていただきました。3校の中だと、緑野小学校が一番児童数が多いのですが、意外と言うと失礼なのですが、江古田小、江原小が強くて、特に、これもまた地の利を生かして100メートル走では、江古田小がすごく強かったですね。特に女子のリレーでは、江古田小がぶっち切りで勝っていました。校長先生はすごく興奮をしていました。

男子のリレーでは、緑野小が最初いいところまで行ったのですが途中で転んでしまって、江原小が独走になって、その後、江古田小学校と緑野小学校が抜きつ抜かれつの物すごい

デッドヒートで、会場全体も盛り上がったところです。

最後に、校長先生の講評にもあったのですが、もともとはその江古田小学校 130 年の歴史があるところから、江原小や旧丸山小が分かれて、それで 3 校集ってということで、非常に意義がある大会だったのかなと。また、各校でやっぱり足自慢の子がいて、緑野小にもすごく足が速い子がいたのですが、100 メートル 15 秒台なのですが、ほかの小学校で 14 秒台の子がいて、小学校で初めて負けたと。そういう経験を子どもたちに、井の中の蛙にならないということで、なかなかこの 6 年の忙しい時期に何で連合なのだという声も、やっぱり P T A の方の中にあるのですが、私は意義がある教育活動なのではないかなと思っております。

私からは以上です。

小林委員長

田辺教育長、お願いします。

教育長

各委員からご報告がありましたので、特にございません。

小林委員長

それでは、ほかによろしいでしょうか。

ご発言がないようでしたら、次に事務局報告に移ります。

<事務局報告>

小林委員長

事務局報告事項の 1 番目、「平成 27 年度中野区立学校の儀式的行事等の日程について」の報告をお願いいたします。

指導室長

それでは、お手元の資料に基づきまして、平成 27 年度の中野区立学校の儀式的行事等の日程について、報告をいたします。

まず、1 番目、小・中学校における日程ということで、本区は 2 学期制を引いておりますので、前期・後期という形で、それぞれ小学校・中学校の日程が示されております。前期の始業式は 4 月 6 日、月曜日ということです。以下、入学式、それから前期の終業式という形になります。その下、後期の始業式は 10 月 13 日、火曜日ということでございます。以下、卒業式、それから修了式の日程が示されております。その下の段ですが、各休業日が示されておりますが、夏季休業日が 7 月 21 日火曜日から 8 月 31 日月曜日までというこ

とで、本年度とは変更されてございます。

2番目が、幼稚園における日程でございます。幼稚園は3学期制ということで、1学期の始業式が4月6日月曜日ということで、以下2学期・3学期、それから右側に長期休業日を記してございます。

報告は以上です。

小林委員長

ただいまの報告につきまして、質問等、ご発言がありましたら、お願いをいたします。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、事務局報告事項の2番目、「平成27年度中野区立学校における学校教育の指導目標」についての報告をお願いします。

指導室長

こちらのほうも、お手元の資料に基づきまして、学校教育の指導目標についてご説明をいたします。

まず、1番目に、指導目標ということで、理念的なことを書いてございます。これは変更ございません。

それから、二つ目の柱で基本方針、三つございます。一つ目が生命を尊重する教育、それから二つ目が人権を尊重する、そして三つ目が生きる力を育むということで、三つの柱で構成してございます。この中身も大きく変更はないのですが、ポイントのところだけご説明をさせていただきたいと思います。

まず、基本方針の一つ目、生命を大切にす教育の推進でございますが、(1)のところを書いてあるように、生命の大切さ、それから生きることのすばらしさを認識させて、自他の生命を尊重する態度を育てるということで、昨今、中学生の自殺等も報道されている中で、命の大切さというのをきちんと発達段階に応じた指導をすることが、これは永遠のテーマかなというふうに考えてございます。それから、(2)は心と体の健康づくりということで、体育ですとか保健ですとか、又は食育などを通して心と体の健康づくりに取り組んでいくということです。(3)が安全への関心ということでございます。これは、交通事故もそうですが、最近是不審者による連れ去り事件等も国内では起きているところで、そういうことに関して、進んで安全生活するような、そういう能力ですとかスキルを身につけさせていくということが必要かなと思います。具体的には、地域・安全マップづくりなどを教育活動の中では取り組んでございます。(4)は、自然環境や資源の有限性などについての学習と

いうことで、これは環境に関する教育ということで、これも今、重要視されているところ
でございます。

二つ目が人権を尊重する教育の推進ということの柱でございます。(1)以下、いろいろ書
いてございます。いじめの未然防止ですとか、それから一人一人の権利、差別や偏見をな
くしていくというようなことを各発達段階に応じて実施をしていくということであり
ます。(2)の障害のある幼児・児童・生徒への理解を深めるということでは、新井小学校で行った
地域での教育委員会でも確かテーマになったかと思いますが、交流及び共同学習ですとか、
それから復籍交流ですとか、今後整備をしていく特別支援教室ということが入ってくるか
なというふうに考えてございます。

3番目が生きる力を育む教育ということで、これは知・徳・体の教育の三つの要素とい
うことでそこに書いてございますので、お読み取りいただければというふうに思います。

ここまでの変更はございません。

3番目の「平成27年度の重点」というところが一部変更してございますので、説明をさ
せていただきます。裏面に新旧対照表が載っておりますので、そちらを見ていただいたほ
うがわかりやすいかなというふうに思います。

まず、1点目ですが、平成25年度からスタートをしています小中連携教育ということで、
平成25・26年度で移行期が終了いたします。来年度から、充実期ということで、その言葉
をとって、一層の充実を図っていくということを進めていきたいというふうに思っていま
す。移行期で、オープンキャンパスですとか乗り入れ指導等を行ってきたわけなのですが、
充実期ということでその乗り入れ指導を本格化していくというあたりが大きな要素になっ
てくるかと思えますし、また小学校・中学校の教育研究会が、なかなかすぐに合体とい
うところまで行かないのですが、合同での研修会ですとかというのも実施し始めておりま
すので、そのあたりも進めていきたいなというふうに思っております。

二つ目ですが、学習評価に基づいた授業改善を推進するとともに、一人一人に応じた補
充的な学習の実施や家庭との具体的な連携を通してということで、アンダーラインを引い
ているところが書き加えているところでもあります。学力調査のご報告のときにもお話をい
たしましたが、ふたこぶらくだといいますか、非常に範囲が広がってきているというこ
とで、特に下位層のお子さんに対する具体的な手だてをもう少し講じていかないといけ
ないだろうというふうに思っております。具体的には、補充的な学習を実施するというこ
とで、夏季休業日を延長したのもその部分もあるということで、ご説明をさせていただ
いたかと

と思いますが、そのあたりに力を入れていくと同時に、家庭との連携を、平成 24 年度に家庭学習の手引きを配付しているのですが、それをもう少し有効に活用してもらおうようなところを重点にしていきたいなというふうに考えてございます。

3 番目は、これは新たにつけ加えたところであります。スマートフォン等の利用状況等の報告を前にさせていただいたのですが、やはり日ごろの生活のあり方というのをきちんと見直して、小学生・中学生として望ましい生活習慣を確立していくことも、学力や体力の向上に非常に資するものではないかなというふうに考えてございまして、そのあたりを新しくつけ加えたということであります。

(4)は大きな変更はございません。

説明は以上でございます。

小林委員長

ただいまの報告につきまして、質問等ご発言がございましたら、お願いをいたします。

高木委員

III の「平成 27 年度の重点」の(2)のところ、もちろんこの表現というかこれでいいと思うのですが、ちょっと内容というか、意味の確認をしたいのですが、「学習評価に基づいた授業改善を一層推進する」とあるのですが、この場合は学習評価というのは、個々の児童・生徒の学習成果を見て、教員がどういうふうに教えているのかももちろん重要なのですけれども、個々の児童・生徒の到達度を見ることによって、ちゃんと効果的な学習ができているのかというのを、担当の教員がしっかり自己評価や他己評価をして、それをもとにその教授法の改善をするというようなイメージでよろしいのでしょうか。

指導室長

そのとおりでありまして、教員としてはこういうことを教えるためにある方法を持ってきて、子どもたちにその習熟を図っていくように指導をしていくわけなのですが、実態とかけ離れてしまうとか、思ったほど効果が上がっていないというの中にはあるかというふうに思いますので、やはりそれについては授業評価を踏まえて、あまり効果が上がっていないのであれば別の方策を考えていくとかということ、授業を改善する新プランみたいなものをつくりながら授業改善を図っていくことが必要だということになります。

高木委員

先日の小学校PTA連合会の会長さんとの懇談の中で、学校に対して、直接教え方がどうという注文ではないのだけれども、やはりなかなか学習に子どもが向かっていかないと

か、あるいは一生懸命やっているのだけれども、なかなかその学習成果が上がっていかないという声が少しあったかなと。それに対して本区では小人数指導とか結構きめ細かくやっていると思うのですが、よりやってほしいというようなお話というか要望がちょっとあったかなと思います。なかなか通常の授業の中では難しいですし、かといって授業時間外の学習をどうやっていくというのは、各学校の状況もあって難しいと思うのですが、まさにここにあるように家庭との連携ですね。家庭にその学習を投げるのではなくて、協力をさせていただいて、その子どもの学習の到達度をいろいろな形で共有をして、個々のステップが上がっていくようなというのは、ぜひこれは推進していただきたいなと思います。

小林委員長

ほかにいかがでしょうか。

渡邊委員

改めて、こういった指導目標、基本方針を見て、これについては、もう本当によくできているなど。方針ができているから、それに従うというか、それを目指して頑張っていきたいなとは思っております。

今回、指導目標の中で、IIIの(1)一層の推進を充実、これは非常にそのとおりだなと思っ
ていまして、(2)のほうなのですけれども、これは「具体的な」という表現が入ったことが非常に望ましいのではないかというふうに、とても評価できると思います。

(3)なのですけれども、「望ましい生活習慣の確立と体力向上に向けた取組を充実させ、すこやかな体の育成に努める」ということで、これはもう本来重要で、昨年度まで入っていなかったのに気づかなかつたなというぐらいに思っているのですけれども、その中に、今回新しく加わったところなので、「育成に努める」という言葉で表現されていますけれども、本来これは大切なことなので、今後は「努める」というよりも、もう少し強い言葉を使ったほうがいいのかなど。やはり、努力しましょうぐらいではなくて、達成しましょうぐらいの、そういうような表現が次年度ぐらいからは、今回は新しく加わったということでいいのかもしいないですけれども、そのように、ある程度、少し目標であっても、達成を確実にするような表現があってもいいのかなどというふうにはちょっと感じました。

以上です。

大島委員

ちょっと細かい表現にこだわるようで恐縮なのですが、重点の(2)のところ、一番最後のところ、平成26年度は定着を「図る」だったのが、平成27年度は「目指す」と

いうふうになっているのですけれども、この文言を変えたところに何か意図があるのかなというところをちょっと伺いたいのですが。つまり「目指す」と言うと、私の言葉のイメージですと、ちょっと遠いところにあるみたいな、はるか遠くなのだけれどもそれを目指してみたいな形で、平成 26 年度より何となくちょっと引いてしまったような言葉のイメージがあるのですが、その辺の意図というのはどんなところでしょうか。

指導室長

意図としては、今大島委員がおっしゃったところと逆で、より強めたというつもりだったのですが、「目指す」だと遠いところにあると言われれば、確かにそうなので、ちょっとこれについてはもう一度再考させていただきたいというふうに思います。意図としては、もうそれをちゃんと定着させるのだぞというような意味でちょっとかえたつもりなのですが、ちょっとその辺はもう一度再考させていただければと思います。

小林委員長

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、この件につきましては以上といたしまして、そのほか報告事項はありますか。

副参事（子ども教育経営担当）

ございません。

小林委員長

ここで、傍聴の方に 11 月の教育委員会定例会の開会予定についてお知らせをいたします。11 月の教育委員会定例会の開会予定は、議事日程の裏面に記載のとおりです。後ほどお読み取りください。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして教育委員会第 30 回定例会を閉じます。

午前 10 時 32 分閉会